

【天田内川源流の地 標柱建立報告書】

平成23年7月29日に23年度事業のひとつであります、標柱の建立を青森市西部に流れる天田内川の源流の地にヒバ材の標柱を建立しました。同会は毎年1ヶ所、源流の地の標柱を建立しており、今年で6柱目となりました。

参加者25名は、同日、午後1時半ころに青森市野木和公園駐車場に集合し、5台の車に分乗して県道青森五所川原線を五所川原方面に向かい、約20分後に予定地に到着しました。建立の場所を決め佐々木会長のツルハシの作業が開始となり、それぞれツルハシ・スコップを交代しながら直径約1m、深さ約70cmの穴を掘りました。そして標柱を前面からと側面からの標柱の位置を確認して土を埋め戻しました。

建立の地は、うす曇の天候でしたが、その時だけは霞が晴れてヒバ材の標柱がとても良く見えました。(参加者25名)



作業説明



佐々木会長一振り



建立場所掘削





深さ確認



位置確認



参加者記念撮影



東青地域整備部中田部長ご挨拶